

令和3(2021)年12月28日

京都大学宇宙総合学研究ユニット特定助教の公募要項

京都大学宇宙総合学研究ユニット(以下、宇宙ユニット)では、これまで宇宙天気予報など、人類の宇宙進出に伴ってますます重要となっている宇宙環境(太陽・地球圏)に関する研究などを推進してきました。同分野の教育・研究活動を一層活性化すべく、観測装置の新規開発、宇宙の観測的研究・教育および宇宙ユニット運営全般を担う特定助教1名(2年間の期限付き)を募集します。積極的なご応募をよろしくお願ひします。

宇宙ユニットは、宇宙に関連した様々な分野の連携と融合による新しい学問の構築を目指して平成20年に設立された組織です。平成26年度から宇宙ユニットでは、宇宙科学と人文社会科学を統合して人類の中長期的生存を脅かす課題を解決するための「宇宙学」の推進と、学際的研究において国際的リーダーとして活躍し得る人材の育成を目的に、京都大学とJAXA/ISASなどの外部機関との連携を担う「宇宙学拠点」を設置しました。令和3年度からは文部科学省宇宙航空科学技術推進委託費事業に採択された「倫理学を基盤とした宇宙教育プログラムの開発と実践」にも取り組んでいます。宇宙ユニットの活動については、以下のサイトをご参照ください。

<https://www.usss.kyoto-u.ac.jp/>

(1) 募集人員:

年俸制特定助教1名

(2) 勤務場所:

京都大学 学際融合教育研究推進センター 宇宙総合学研究ユニット
(所在地:京都市左京区北白川追分町)

(3) 候補者に要請される専門研究領域および職務内容:

専門研究領域:宇宙の観測的研究(装置開発を含む)

職務内容:宇宙観測装置の新規開発、宇宙の観測的研究・教育および宇宙ユニットの運営全般を担って頂ける人材を求めます。ただし、これまでの(宇宙観測などの)経験は問いません。

(4) 応募資格:

博士の学位を有する者あるいはこれと同等以上の学力を有する者。国籍は問わないが、日常的に日本語が使えることが望ましい。

(5) 募集方法:

公募

(6) 勤務形態:

専門型裁量労働制(週38時間45分相当、1日7時間45分相当)

休日:土・日曜日、祝日、年末年始、京都大学創立記念日および夏季一斉休業日

(7) 着任時期:

令和4年4月1日以降の可能な限り早い時期。

(8) 採用予定期間:

令和6年3月末日まで。ただし、任用は年度毎に更新するものとする。

(9) 身分・待遇：

特定助教として京都大学の規定に従って給与を支給する（年俸制）（手当なし）。

加入保険等：文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入。

(10) 応募書類：

(ア) 履歴書（高卒以降、写真貼付、書式自由、連絡先を明記）

(イ) 研究教育の業績リスト（著書、原著論文、総説、国際会議プロシーディングス、特許、外部資金、教育実績、その他）。なお、主要な研究業績 3 件以内に○印をつけること、また査読の有無を明記すること。

(ウ) 代表的な原著論文および総説 3 編までの別刷り（*）

（*）当該電子ファイルを入れた記録媒体（USB メモリなど）でもよい

(エ) これまでの研究、教育の概要（2000 字以内）

(オ) 研究計画（2000 字以内）

(カ) 応募者について意見を伺える方（2 名）の氏名・所属・連絡先または推薦書
（なお、応募書類は特に申し出のない限り返却しませんので、ご了承下さい。）

(11) 選考方法：

書類による審査の後、プレゼンテーションをお願いすることがあります。そのための交通費や滞在費などは応募者の負担とします。なお、オンラインでのプレゼンテーションも可とします。

(12) 公募締切：

令和 4 年 1 月 28 日（金）（必着）

(13) 書類の提出先：

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学 北部総合教育研究棟 507 号室 （電話：075-753-9665）

宇宙総合学研究ユニット 嶺重 慎 宛

（表に「特定助教応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留とすること）

(14) 問い合わせ先：

京都大学 宇宙ユニット長 嶺重 慎

E-mail: shm[at]kusastro.kyoto-u.ac.jp（[at]を@に変えてください）

(15) その他

応募書類に含まれる個人情報は、選考および採用以外の目的には使用しません。なお、京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。また京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。